

守護神

SS-300

取付け・取扱い説明書

保証書

この度は、自動車用盗難警報装置 守護神 (SS-300) をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い方法が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は、車体への衝撃や電圧変化を感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車輛盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車輛に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車輛盗難、車上ねらい、車輛へのイタズラ等が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目 次

●ご使用上の注意	2
●おもな特長	3
●各部の名称	4・5
●取付け／接続方法	
・取付け・接続時の注意	6
・配線概要図	7
・取付け手順1 (ボディーアース配線)	8
・取付け手順2 (スピーカーユニット取付け／接続)	8
・取付け手順3 (12V検出線配線)	9
・取付け手順4 (ホーン出力配線)	10・11
・取付け手順5 (ドアロック・アンロック配線)	12・13
・取付け手順6 (カーテシ配線)	14
・取付け手順7,8,9 (常時電源配線・アンテナユニットの接続・16Pハーネスの接続)	15
・取付け手順10,11 (アンテナユニットの取付け・メインユニットの取付け)	16
●リモコンについて	
・注意	17
・充電方法	18
・ID登録	19
・リモコン操作一覧表	20・21
●機能設定	
・設定方法	22
・機能設定表	23
・振動センサー感度設定	24
・フラッシャー設定	24
・スピーカー警告 (軽度) 設定	25
・スピーカー警告 (重度) 設定	25
・ホーン警報設定	26
・スタート/ストップ音 (スピーカー) 設定	26
・スタート/ストップ音 (ホーン) 設定	27
・キャンセルタイマー設定	27
・振動センサーVOL.設定	28
・スピーカーVOL.設定	28
●盗難警報機能	
・警報内容	29
・その他機能	30
●故障かな?と思ったら	31・32

ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取り扱いをすると生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告

警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

注意

注意を無視した取り扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車輛の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。又、エンジンルーム内への取付け・配線等も車輛の機構（ファン・ベルト等）や、熱の影響が無い場所へ取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車輛故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・両面テープ等の消耗品は、保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 指定の電池・充電器以外は使用しないでください。
- イグニッションキーを抜いた状態で、ステアリングのホーンボタンを操作し、ホーン（クラクション）が鳴らないお車は、ホーン警告機能が使用できません。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。

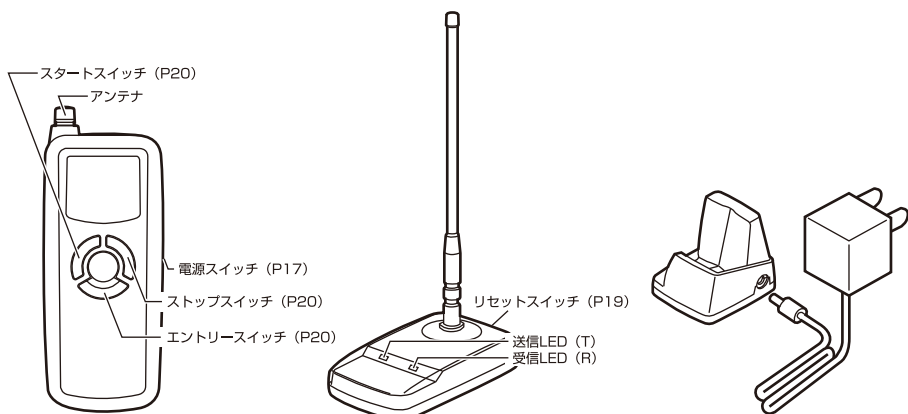
- 備考 「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

おもな特長

- **アンサーバックシステムリモコン**
アンサーバックシステム搭載リモコンが、車輛異常をリアルタイムに表示&アラームでお知らせします。
- **車から遠く離れても安心の特定省電力リモコン**
特定省電力リモコンなので、車から遠く離れていても異常をお知らせします。
※電波到達距離 直線見通し2500m (当社計測値)
- **リモコンドアロック連動方式**
SS-300 のリモコンでドアロックのON・OFFが行え、連動して守護神のスタート・ストップも行います。
※一部車種で上記機能が使用できない場合があります。
- **リモコンエンジンスターターの作動もOK**
SS-300のリモコンで、当社リモコンエンジンスターター (A-13) のスタート・ストップが行えます。
※ECOモードのみ
- **充電式リモコンでいつでも異常警報を受信**
リモコンは充電方式とし、付属の専用充電器 (AC100V) で充電を行えば約25日間は充電不要。
又、充電中も車輛に異常があればリモコンに異常警報をアンサーバックします。
- **衝撃&電圧のダブルセンサー**
雨や風による揺れには反応せず、衝撃のみ反応する新型振動センサーと、ドアオープン (ルームランプ点灯) 等の電圧変化に反応する新開発の電圧センサーのダブルで監視。
※一部車種で、電圧センサーが正常に作動しない場合があります。カーテシ配線を行ってください。
- **高輝度LEDによる監視機能&警告機能**
本製品が車輛監視状態の時、8個の高輝度LEDが点滅 (4パターン) し不審者を威嚇します。
又、衝撃・電圧変化を感知すると高輝度LEDがフラッシュ点滅し、警告を行います。
- **ダブル警告機能**
車体衝撃の強弱によって2段階の警告を行います。
- **日本語・英語・電子サイレンでの警告が行なえるスピーカー**
スピーカーからの警告音を、日本語・英語・電子サイレンの中から設定できます。
又、ボリューム調整機能で、音量の調整も可能です。
- **ホーン警報機能**
衝撃・電圧変化を感知した場合、車輛のホーンを鳴らし警告を行う事が可能です。
※一部車種で、ホーン警報が行なえない場合があります。
- **盗難保険・1年間無償加入**
本製品ご購入日から1年間有効の盗難保険に加入しています。(最高保証額¥100,000)
※保険対象品 ・タイヤ・ホイール・カーナビゲーションシステム・カーテレビ・カーオーディオ
・レーダー探知機・エンジンスターター
- **履歴機能**
停車中の車輛に異常が起きた時、センサー別に反応回数を確認できる履歴機能を搭載。
- **環境誤動作防止回路**
車輛への微振動を常にサンプリングし、車両への衝撃による振動との違いを確実に判断する新回路を搭載し、従来以上に風・雨等による誤動作を減少します。
- **エンジンスターター&ターボタイマー取付車対応**
エンジンスターター&ターボタイマーの作動中は、振動・電圧変化の警告は行いません。
- **省電力モード (バッテリー保護)**
8日間以上連続して監視状態の場合、バッテリー保護の為、高輝度LEDが消費電力最小の点滅に変わります。
- **豊富なオプションで、車にあわせてシステムアップが可能**
 - ・カーテシ配線
一部車種で電圧センサーが働かない場合、カーテシスイッチ (ドアスイッチ) の信号を検出し、ドアオープン時の警報を行います。
 - ・拡張振動センサー
RV・ミニバン等車体の大きな車で車輛後部の振動検出ができない車に最適です。
 - ・トランクセンサー
トランクの開閉を感知し、警報をおこないます。ハッチバック車への取付も可能です。
 - ・BeTime/守護神共通ワイヤレス
ドアロックアダプター
車輛ドアロック・アンロック線の極性をマイナス方式からプラス方式に反転させるためのアダプター

各部の名称 (商品セット内容)

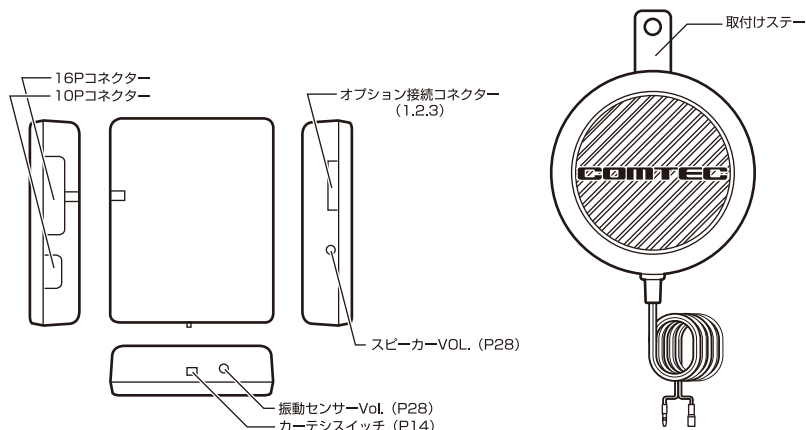
※ () 内はセット数量



◆リモコン (1)
(電池セット済み)

◆アンテナユニット (1)

◆充電器 (1)
専用ACアダプター (1)

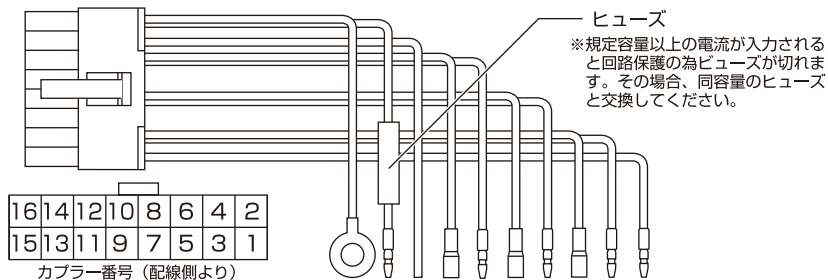


◆メインユニット (1)

◆スピーカーユニット (1)

注：取扱説明書内イラストと実際の商品は一部形状が異なる場合があります。

各部の名称 (商品セット内容)



◆16Pハーネス (1)



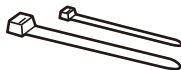
◆10Pケーブル (1)



◆コードクランプ (3)



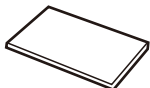
◆アンテナベース (1)



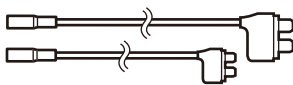
◆インシュロック (大×3 小×5)



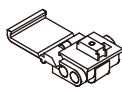
◆調整用ドライバー (1)



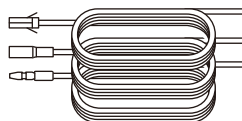
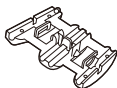
◆両面テープ (3)



◆平型ヒューズ付きコード (大×1 小×1)



◆エレクトロタップ (赤×6 青×1)



◆延長線

- ・ホーン出力延長線 (青×1)
- ・ドアポジション延長線 (桃×1)
- ・ドアロック延長線 (緑×1)
- ・ドアアンロック延長線 (紫×1)
- ・カーテシ入力延長線 (黄×1)



◆ステッカー (1シート)

※車両の窓ガラス等に貼ってください。

取付け／接続方法

◆取付け・接続時の注意

●パーキングブレーキを確実にかけ、安全な駐車状態にします。

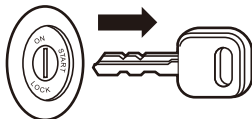


フットペダル式パーキングブレーキ



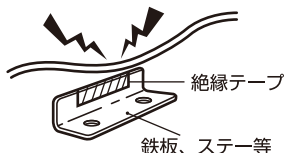
サードレバー式パーキングブレーキ

●エンジンを停止させ、キーを抜きます。

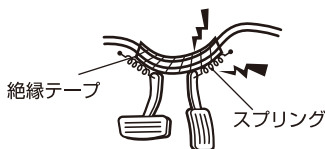


●配線について

※配線等を収納する際、車の金属部（ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄等）にコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください。



鉄板、ステー等



絶縁テープ

スプリング

●取付けに必要な工具 ※その他の工具が必要になる場合があります。

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・カッターナイフ
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・絶縁テープ

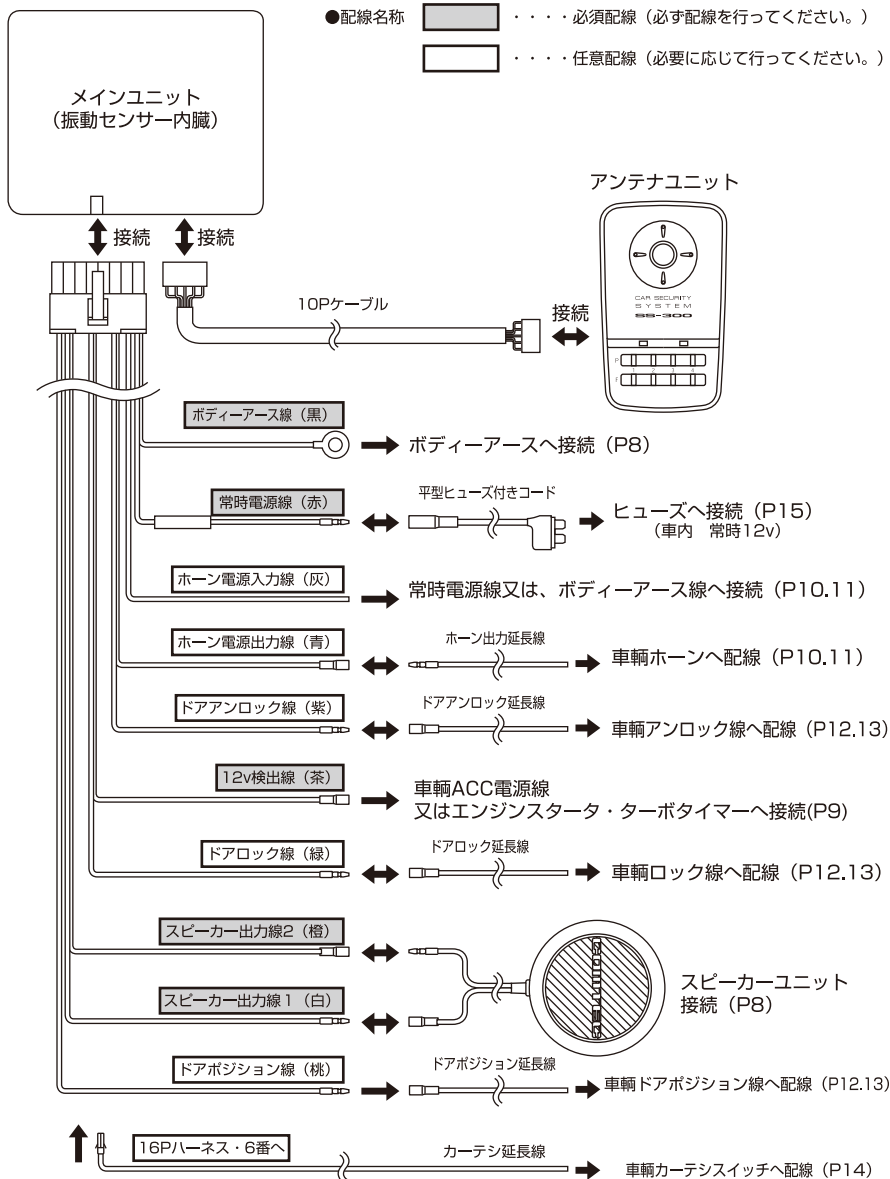
●エレクトロタップの使用法

注意 エレクトロタップで接続後、安全の為に必ず絶縁テープを巻いてください。
青タップ、赤タップの使用法が異なります。

青タップの使用法		3. ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。		4. 絶縁テープを巻きます。	
1. タップを図のように見ます。 ストッパー	2. ストッパー付きコード溝に本機のコードを挟みプライヤー等でロックします。	3. ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。	4. 絶縁テープを巻きます。		グレー部分全体にテープを巻いてください。
ストッパー無しコード溝					
赤タップの使用法		3. カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。		4. 絶縁テープを巻きます。	
1. コードを差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。	2. プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。	3. カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。	4. 絶縁テープを巻きます。		グレー部分全体にテープを巻いてください。
車輛コード					
本機コード					

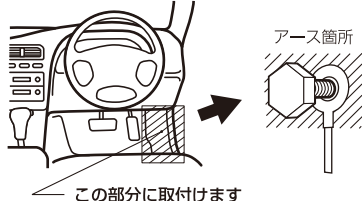
取付け／接続方法

◆配線概要図



◆取付け手順1 (ボディーアース配線)

16Pハーネス・アース線(黒)を、塗装されていないボディまたはフレームのビス等へ確実に共締めします。



この部分に取付けます

⚠注意

- ・バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

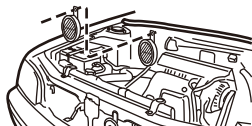
◆取付け手順2 (スピーカーユニット取付け／接続)

スピーカーユニットはエンジンルーム／室内のどちらにも取付ける事ができます。

⚠注意 スピーカーユニットの取付、配線を行う際、車輛の機構部(ファン・ファンベルト・アクセルペダル・ブレーキペダル等)や高温となる場所(エンジン・ラジエター・エアコン吹き出し口付近等)への配線は避けてください。

1.スピーカーユニットの取付け (エンジンルーム)

- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、雨等の水が直接当たらない箇所へ確実に取付けます。
- ・車輛のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開けスピーカーユニットの配線を室内側へ配線してください。

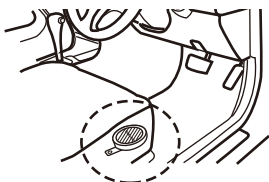


(取付け例) エンジンルーム内



2.スピーカーユニットの取付け (室内)

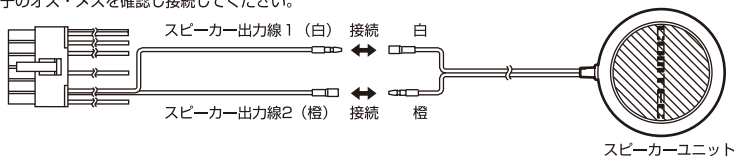
- ・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、運転に支障の無い箇所へ確実に取付けます。
 - ・車輛のネジ等を利用して確実に取付けてください。
- ※気密性、防音性の高い車輛の場合、室内に取付けると警告音が聞こえ難くなる場合があります。



(取付け例) 運転席下部

3.スピーカーユニットの接続

- ・16Pハーネス・スピーカー出力線1(白)・スピーカー出力線2(橙)をそれぞれスピーカーユニットと接続します。
- ※各端子のオス・メスを確認し接続してください。



スピーカーユニット

取付け／接続方法

◆取付け手順3 (12v検出線配線)

●お取付けの車種によって下記a、b、c、dの4通りの配線方法があります。

※・エンジンstarter／ターボタイマーお取付けの車種はb、c、dいづれかの配線を行ってください。

・エンジンstarter／ターボタイマーをお取付けされていない車種は、12v検出線配線を行うことで、本製品作動中にリモコンを紛失・破損した時等、車輛のイグニッションキーをACCの位置にすると警報が停止します。

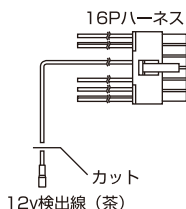
a エンジンstarter／ターボタイマーを取付けていない車輛の場合。



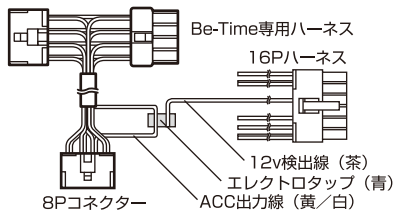
・16Pハーネス・12v検出線 (茶) をギボシの部分でカットし、車輛のACC電源線にエレクトロタップで接続します。

b 弊社製品のエンジンstarter／ターボタイマー「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線 (茶色) の無い機種を取付けている場合。 ※詳しくは、各商品の説明書を参照してください。

・16Pハーネス・12v検出線 (茶) をギボシ部分でカットします。

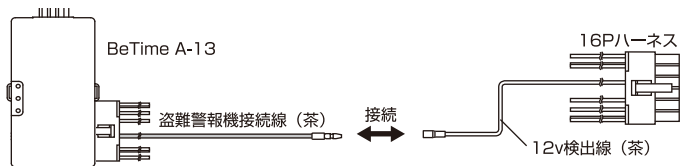


・16Pハーネス・12v検出線 (茶) と、Be Time専用ハーネスの黄／白線をエレクトロタップで接続します。



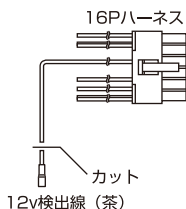
c 弊社製品のエンジンstarter／ターボタイマー「Be Timeシリーズ」で盗難警報機接続線 (茶) のある機種を取付けている場合。 ※詳しくは、各商品の説明書を参照してください。

※A-13の場合 → 16Pハーネス・12v検出線 (茶) をA-13付属の接続端子線に接続し14Pコネクターの⑦へ差込みます。

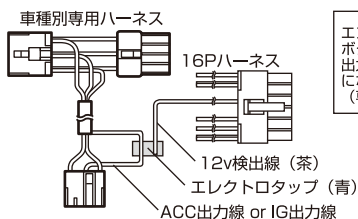


d 他社製品のエンジンstarter／ターボタイマーを取付けている車種。

・16Pハーネス・12v検出線 (茶) をギボシ部分でカットします。



・16Pハーネス・12v検出線 (茶) と車種別ハーネスのACC出力線をエレクトロタップで接続します。(ACC出力線が無い時、IG出力線)



—※ACC出力線とは？
エンジンstarter／ターボタイマー作動時、12vを出力しエンジン停止時、0vになる線 (専用ハーネス内の線)

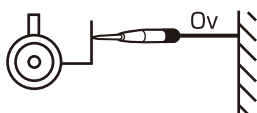
◆取付け手順4 任意配線（ホーン出力配線）

※本製品はホーン出力配線を行う事で、警報時にホーン（車輛のクラクション）をならす事が可能です。
又、付属のスピーカーユニットのみで警報を行う場合は、ホーン出力配線の必要はありません。

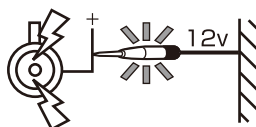
- ⚠ 注意**
- 車のホーンは、「マイナススイッチ方式」と「プラススイッチ方式」があります。下記の方法で、ホーンのスイッチ方式を調べてください。
 - エアバックの誤作動やその他事故を防止する為、ホーン配線はホーンに直接配線してください。（室内・ハンドルのホーンスイッチ部等には、配線しないでください。）
 - 取付け後、ホーン警報設定（P26）を行ってください。

■プラススイッチ方式

1・車のホーン1ケにつきコードが1本の場合

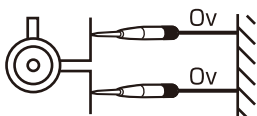


(1) テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時0v。

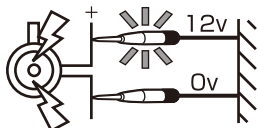


(2) ホーン・オン時12v側が+コード。

2・車のホーン1ケにつきコードが2本の場合



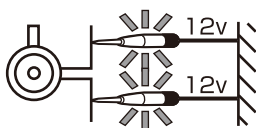
(1) テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時は2本共0v。



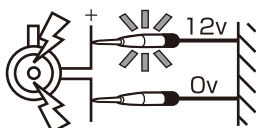
(2) ホーン・オン時12v側が+コード。
ホーン・オン時0v側が-コード。

■マイナススイッチ方式

1・車のホーン1ケにつきコードが2本の場合



(1) テスターをホーンのコードとアースに接続しホーン・オフ時は2本共12v。



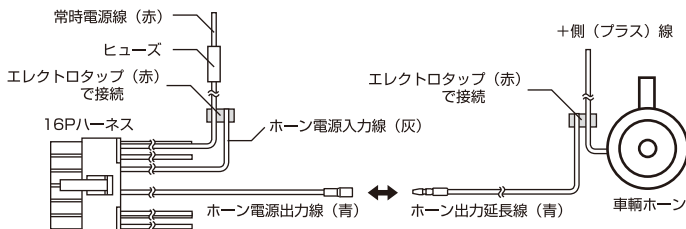
(2) ホーン・オン時12v側が+コード。
ホーン・オン時0v側が-コード。

取付け／接続方法

- ⚠ 注意**
- イグニッションキーを抜いた状態でステアリングのホーンスイッチを操作し、ホーン（クラクション）が鳴らない車輛は、本製品でのホーン警告が行なえません。スピーカーユニット警告でご使用ください。
 - 本製品は7Ah以下のホーンが使用できます。（複数個のホーンを使用している場合は、合計で7Ah以下）7Ah以上のホーンをご使用の場合は、市販のホーンリレー等をご使用ください。
 - P10を参照し、取付け車種のホーン配線がプラススイッチ方式か、マイナススイッチ方式かを確認してください。

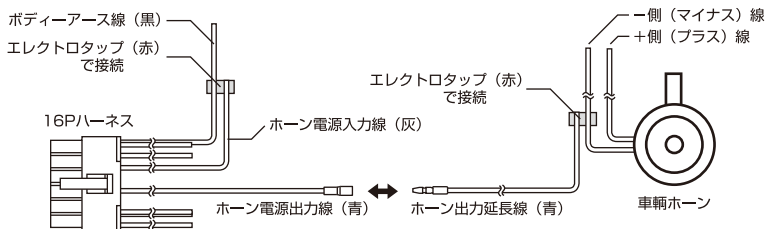
■プラススイッチ方式の配線

- ・16Pハーネス・ホーン電源入力線（灰）と常時電源線（赤）をエレクトロタップ（赤）で接続します。
 - ・16Pハーネス・ホーン電源出力線（青）を付属のホーン出力延長線（青）と接続し、車輛ホーンの上側（プラス）線へエレクトロタップ（赤）で接続します。
- 注：使用時頻繁にヒューズが切れる場合は、ホーンの電流値を確認し、7Ah以上の電流が使用される場合はホーンをお取替え頂く等の対応をお願い致します。



■マイナススイッチ方式の配線

- ・16Pハーネス・ホーン電源入力線（灰）とボディーアース線（黒）をエレクトロタップ（赤）で接続します。
- ・16Pハーネス・ホーン電源出力線（青）を付属のホーン出力延長線（青）と接続し、車輛ホーンの下側（マイナス）線へエレクトロタップ（赤）で接続します。



■ホーン出力延長線（青）の配線

- ⚠ 注意**
- 配線を行う際、車輛の機構部（ファン・ファンベルト等）や高温となる場所（エンジン・ラジエーター等）への配線は避けてください。

- ・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開け延長線（青）を室内側から配線します。



車のホーンまで、延長線（青）を配線します。

取付け／接続方法

◆取付け手順5 任意配線(ドアロック・アンロック配線)

- 本製品のリモコンにて車輛のドアロック／ドアアンロックと連動して守護神のスタート／ストップを行います。

(注) 下記の様な車種はドアロック・アンロック制御を行えません。

- ・ドアロック専用スイッチ(集中ドアロックスイッチ)で全てのドアロックを制御(ロック／アンロック)できない車種。又は、純正リモコンドアロック(ディーラーオプションは不可)が装備されていない車種。
- ・ドアロック・ドアアンロック制御を多重通信で行っている車種。
- ・輸入車。(外車、逆輸入車)
- ・スマートキー装着車(トヨタ車、ダイハツ車の一部)

●配線の前に

自動車メーカー、車種によってドアロック・アンロック配線の方法が異なります。また、本製品以外に別売のBeTime／守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターを必要とする車種があります。

Aタイプ……本製品だけで配線が可能。トヨタ車(一部車種除く)、ホンダ車、ミツビシ車の一部など

適応車種……ドアロック専用スイッチ、もしくは純正リモコンドアロック(キーレスエントリー)で全てのドアロックを制御(ロック／アンロック)でき、通常時12v・ドアロック／アンロック時0vになり動作後12vに戻るタイプ。

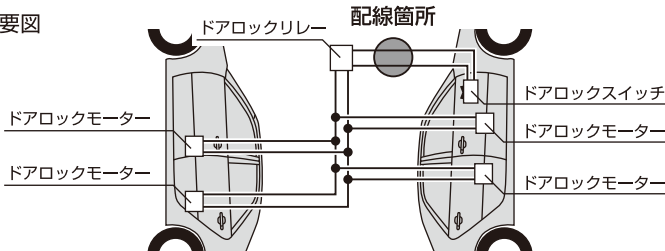
Bタイプ……本製品以外に別売のBeTime／守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターが必要。

ニッサン車(一部車種除く)等※配線方法はBeTime／守護神共通ワイヤレスドアロックアダプターを参照してください。

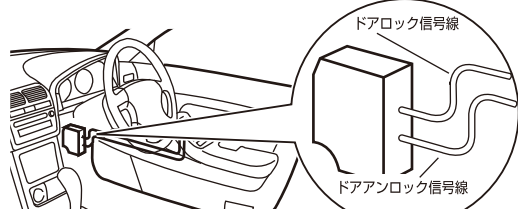
適応車種……ドアロック専用スイッチで全てのドアロックを制御(ロック／アンロック)でき、通常時0v・ドアロック／アンロック時12vになり、動作後0vに戻るタイプ。

Aタイプの配線方法

1. 配線概要図



2. 車輛ドアロック・ドアアンロック線を探します。ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックスイッチまわりから探し出します。



※場所は車種によって異なります。

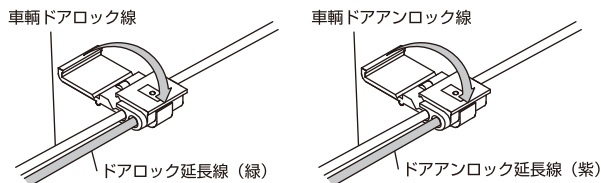
ドアロック線(通常12v)

ドアロック動作時→0v
動作後→12v

ドアアンロック線(通常12v)

ドアアンロック動作時→0v
動作後→12v

- 3.** ドアロック・ドアアンロック延長線（緑・紫）を項目 **2.** で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップ（赤）で接続します。



※確認（必ず行ってください）

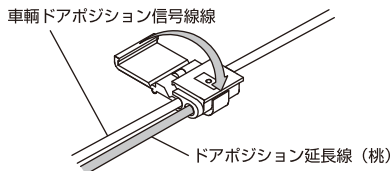
エレクトロタップで接続後、延長線をボディアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 4.** 項目 **3.** の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（トヨタ車のみ）
ドアアンロックが作動する場合は、項目 **6.** へ進んでください。



ドアロックノブを操作してロック時に12v、アンロック時に0vになる線を探します。

- 5.** 項目 **4.** で探したドアポジション信号線にドアポジション延長線（桃）をエレクトロタップ（赤）で接続します。

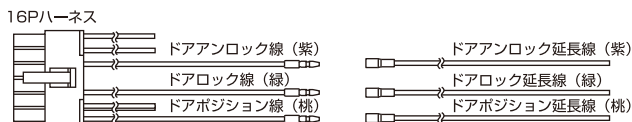


※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 6.** 16Pハーネス・ドアロック線（緑）、ドアアンロック線（紫）をそれぞれの延長線と接続します。

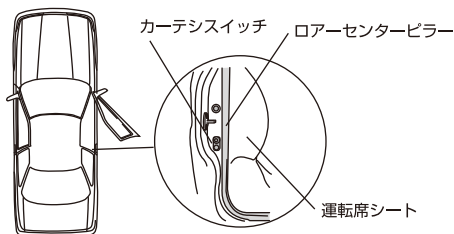
※ドアポジション延長線を接続している場合は、同様に16Pハーネスと接続します。



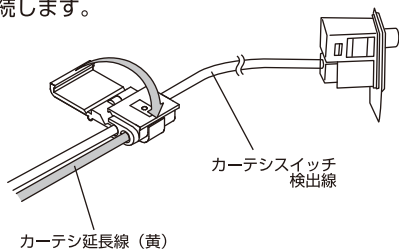
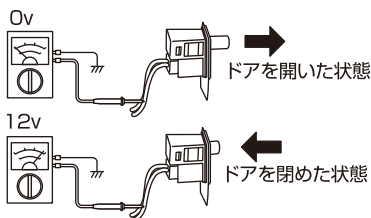
◆取付け手順6 任意配線（カーテシ配線）

- ※ 本製品を取付けて、電圧センサーによる警報が出力されない（ドアオープン時に警報されない）場合に配線を行ってください。
- ・ 付属のカーテシ延長線は、カーテシ配線を1箇所で行える車種専用になります。複数のドアに対してそれぞれ独立したカーテシ配線を行う必要のある車種は別売のカーテシ配線（複数線）「SS-051」をご使用ください。

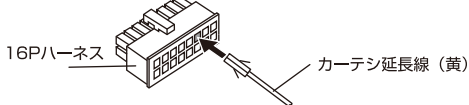
1. 運転席側ロアセンターピラーのカバーをはずします。



2. 車輻側カーテシ検出線をテスター等で探し、カーテシ入力延長線（黄）と車輻側カーテシ検出線をエレクトロタップ（赤）で接続します。



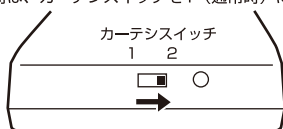
3. 16Pハーネス・6番ピンにカーテシ入力延長線を接続します。



※差し換える事ができません。
位置を間違え無いよう注意してください。

4. メインユニット・カーテシスイッチを2（配線時）に切替えます。

※カーテシ配線を行っていない時は、カーテシスイッチを1（通常時）にします。



取付け／接続方法

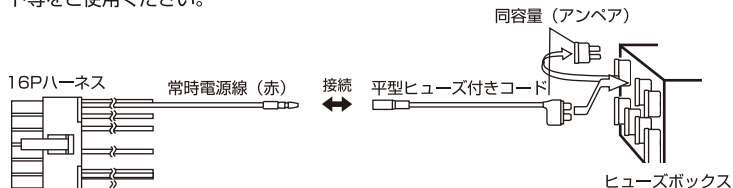
◆取付け手順7（常時電源配線）

●付属の平型ヒューズ付きコードは、大小の2種類あります。車輛のヒューズサイズに合わせてご使用ください。

・16Pハーネス・常時電源線（赤）に平型ヒューズ付きコードを接続し、車輛の常時電源がとれるヒューズと差し換えます。

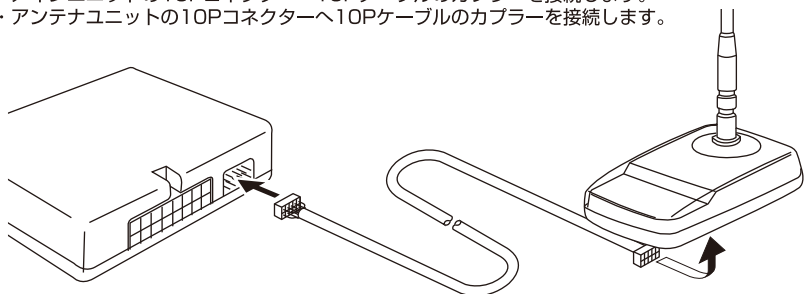
※・必ず同じ容量（アンペア）のヒューズと差し換えてください。

・車輛に同じ容量（アンペア）のヒューズが無い場合は、市販されている同じ容量のヒューズ付きコード等をご使用ください。



◆取付け手順8（アンテナユニットの接続）

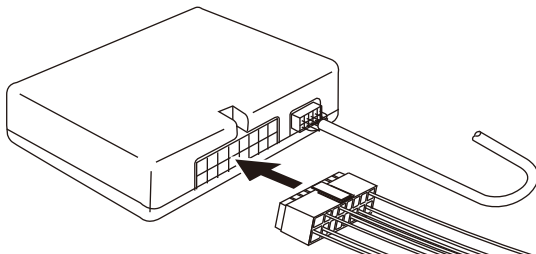
- ・メインユニットの10Pコネクターへ10Pケーブルのカプラーを接続します。
- ・アンテナユニットの10Pコネクターへ10Pケーブルのカプラーを接続します。



◆取付け手順9（16Pハーネスの取付け）

- ・メインユニットの16Pコネクターへ16Pハーネスを接続します。
- ・16Pハーネスを接続するとアンテナユニットが2回点滅し、スピーカーユニットから3秒間電子音が鳴ります。

※アンテナユニットの点滅、スピーカーユニットの警報が行われない場合は、再度接続を確認してください。

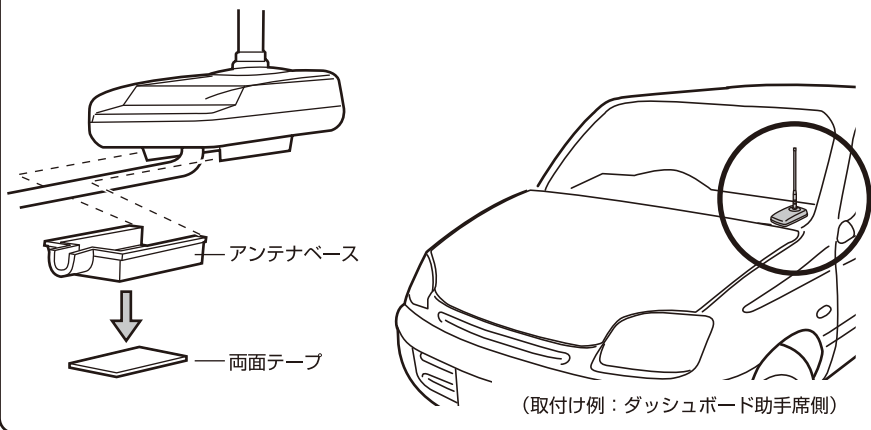


取付け／接続方法

◆取付け手順10（アンテナユニットの取付け）

・アンテナユニットとアンテナベースを下図の様に取付け、付属の両面テープで車輛のダッシュボード上にLED部が外から見える様に取付けます。

※運転や視界の妨げにならず、車輛の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。



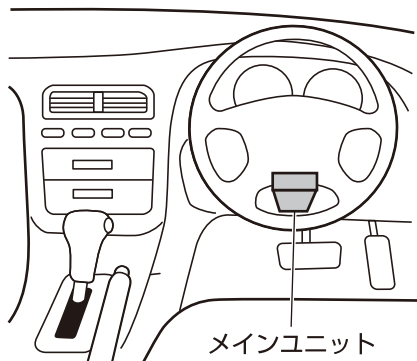
◆取付け手順11（メインユニットの取付け）

P22～P28の機能設定が終了してから取付けを行ってください。

●カーテシ検出スイッチ

付属のカーテシ配線を行っている場合は、カーテシスイッチを2:配線時に切り替えてください。

・メインユニットを付属の両面テープを使用して、樹脂、金属等の面へ水平になるよう確実に固定してください。



⚠ 注意

- ・中性洗剤で取付け面を拭き、油分を取り除いてから貼り付けてください。
- ・スピーカーVol.感度センサーVOL.の操作が行える位置に取付けてください。
- ・カーペット等の柔らかい面へ取付けると、正確な振動検出が行えない場合があります。
- ・取付け、配線は車輛の機構部（アクセルペダルブレーキペダル等）に影響がなく、運転の妨げにならない位置へ取付けてください。

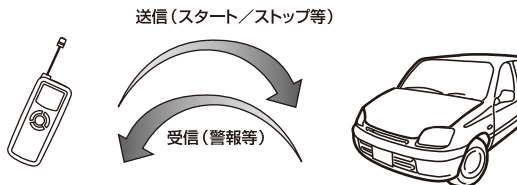
(取付け例：アンダーダッシュ)

リモコンについて

- 注意** ●本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- 本リモコンは充電式です。出荷時は充電済みの状態ですが、自然放電する場合があります。ご使用前に必ず専用充電器にて充電を行ってください。
 - 本リモコンはアンサーバックタイプを採用し、お車の異常をリモコンでお知らせしますが、鞆、機の引出し、金属の上等にしまわれると電波を受信できなくなる場合があります。
 - 当社エンジンスターター（Be Time）のリモコンと本リモコンを同時には使用しないでください。誤動作の原因となります。

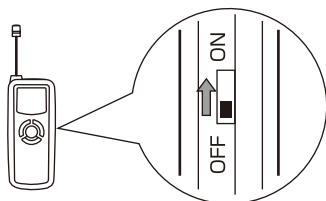
◆アンサーバックについて

本製品は、リモコンとアンテナユニット間で互いに送受信を行い本機のスタート/ストップを始め、振動センサー、電圧センサー、オプションセンサーの反応があった時、リモコンへお知らせします。



◆リモコンのご使用前に（電源スイッチ）

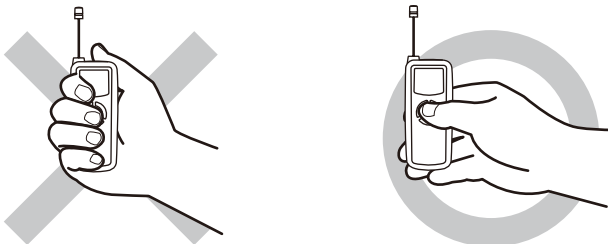
商品出荷時は電池の消耗を防ぐ為、リモコン電源OFFの状態です。ご使用時はON状態でご使用ください。又、長期間使用しない場合（車を使わない旅行等）は、電池の消耗を防ぐ為にリモコン電源をOFFにする事をお勧めします。



精密ドライバー、ペン先等で切替えてください。

◆リモコンの操作方法

リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させる為に必ずアンテナをのぼし、リモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



◆リモコンを破損・紛失した場合

リモコンを破損した場合は、販売店へ修理のご依頼・ご相談をしてください。又、修理不能もしくは紛失された場合は新たにリモコンのみをご購入頂き再度ID登録を行うことで、ご使用できます。

※リモコンご購入時の注意：防犯上、安全の為に保証書の提示等をお願いする事があります。

◆充電方法

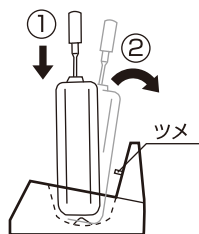
●充電について

- ・本製品はトリクル充電式です。満充電するのに約10時間かかります。※満充電後、更に充電を続けても(10時間以上)問題はありません。
- ・リモコンの電池はスタート/ストップ動作を1日2回行って、約25日間使用できます。※使用状況、警報回数等により短くなる場合があります。
- ・リモコンを充電状態でも、アンサーバック機能は働いています。アンテナを伸ばした状態で、本体からの電波が受信可能な場所で充電を行ってください。また、充電器にセットした状態ですと、リモコンからの警告音量が大きくなります。

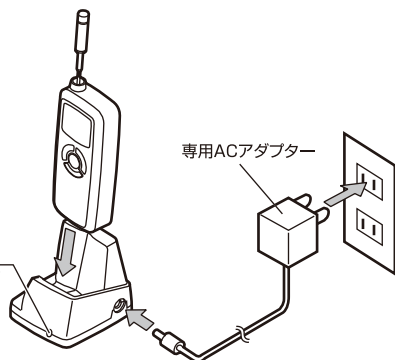
●充電の方法

- ・専用ACアダプターを充電器に接続し、コンセントへ差込みます。
- ・リモコンを充電器にセットします。
- ※リモコンをセットしてもチャージランプが点灯しない場合は充電されません。再度確認してください。

リモコン端子と充電器端子の位置をあわせ、
下方向に軽く押しながらリモコン背面の凹を
充電器のツメ部分にセットします。



チャージランプ
充電器にリモコン
がセットされている
間点灯



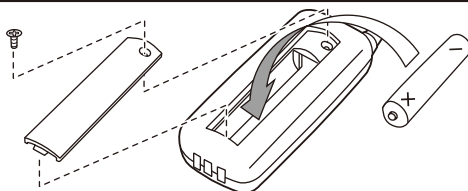
注意

- ・充電器には必ず本製品の専用ACアダプターをご使用ください。
- ・充電は必ず家庭用電源 (AC100V) で行ってください。
- ・充電器を水気や、湿気が多い場所には設置しないでください。又、濡れた手で充電器、専用ACアダプターに触れないでください。
- ・充電器の端子に触れないでください。又、金属片やゴミ等が端子に触れないようにしてください。
- ・充電器に異常 (発煙・発火・異臭等) が発生した場合、ただちに電源を抜き、使用を中止してください。
- ・リモコンにキーホルダー等を取付けている場合、充電器の端子に触れないようにしてください。
- ・充電を行っていない時は専用ACアダプターをコンセントから抜いてください。

●電池交換について

- ・リモコン電池は、単4ニッカド電池を使用しています。充電を行っても作動しない等の状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。市販の単4ニッカド電池と交換してください。
- ※リモコンは単4アルカリ電池、単4マンガン電池等でも動作しますが、充電はできません。

電池蓋ネジを外し、 \oplus \ominus
を確認して交換してください。



◆ID登録

●ID登録とは

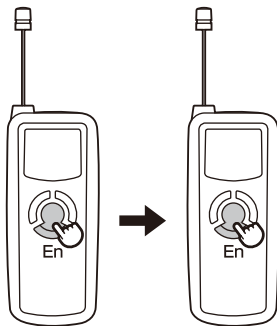
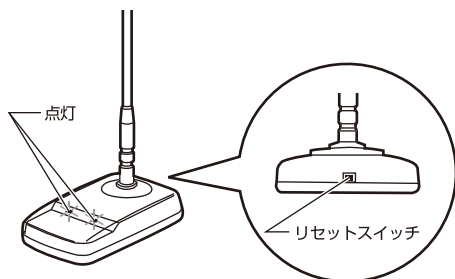
- ・リモコン個々に登録してあるIDコードをアンテナユニットに登録することで、他のリモコンからの操作を行えないようにします。※ID登録を行いリモコンを認識する事で、本製品は作動可能状態になります。
- ・バッテリーを外した(交換)時、本体を外した時等は、アンテナユニット内のIDコードがリセットされます。再度、ご使用になる場合は、ID登録を行ってください。
- ・弊社リモコンエンジンスターター「Be Time A-13」のアンテナユニットへ本リモコンのID登録を行えば、本リモコンでBe Time (A-13)の操作が可能です。※ECOモードでのエンジンスタート/ストップのみ操作可能。

注意

- ・本製品 (SS-300) と、Be Time (A-13) へのID登録方法が異なります。ご注意ください。
- ・本製品 (SS-300) と、Be Time (A-13) を組合わせてご使用になる場合、A-13へSS-300のIDを登録する為、A-13リモコンでの操作はできなくなります。

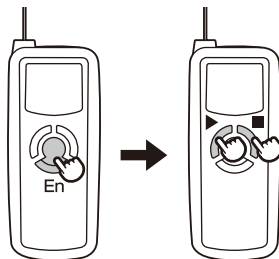
●SS-300のID登録方法(必須)

- ・SS-300アンテナユニットのリセットスイッチを押します。(アンテナユニットの送信、受信LEDが点灯します。)
 - ・SS-300リモコンのエントリースイッチ(En)を押し、リモコンの送信マークが点滅している間に再度、エントリースイッチ(En)を押します。
 - ・アンテナユニットの送信、受信LEDが消灯すれば、ID登録終了です。
- ※・リモコン操作一覧表(P20)を参照してください。



●Be Time A-13 のID登録方法 (A-13併用取付け時のみ)

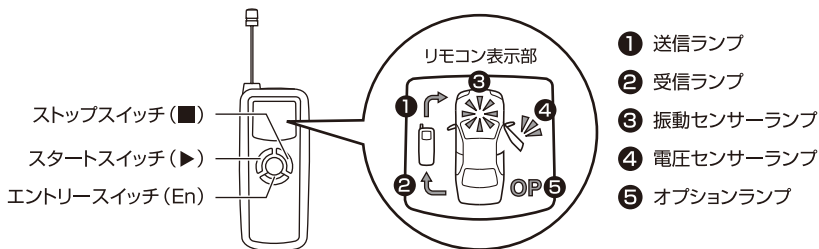
- ・A-13アンテナユニットのリセットスイッチを押します。(アンテナユニットのPOWER、ERRORランプが点灯します。)
 - ・SS-300リモコンのエントリースイッチ(En)を押し、リモコンの送信マークが点滅している間にスタート(▶)、ストップ(■)スイッチを同時に押します。
 - ・アンテナユニットの送信、受信LEDが消灯すれば、ID登録終了です。
- ※・リモコン操作一覧表(P20)を参照してください。
- ・A-13取扱い説明書を参照してください。



リモコンについて

◆リモコン操作一覧表

リモコンの操作時及び、警報時、下記表示を行います。



- リモコン操作時、エントリースイッチを1回押す事で、エントリー状態(2秒)となり送信ランプが点滅し「ビビビ…」音が鳴ります。※エントリー状態では電波は送信されてません。
- リモコンより電波の送信を行った時は、送信ランプが点灯し、送信音「ビー」が鳴ります。
- リモコンより電波の送信を行った時は、アンテナユニットより、正常に作動した事をアンサーバックします。
- 他の無線局(特定省電力のリモコン等)が送信している電波が付近にある場合、電波法により電波の送信が行えません。そのような場合、エラー音「ブブブ…」でお知らせします。

リモコン操作一覧		
動作内容	操作方法	アンサーバック
ID登録 (SS-300) En → En	1.アンテナユニットのリセットスイッチを押します。 2.リモコンのエントリースイッチを押し、送信ランプ点滅時に再度、エントリースイッチを押します。 3.アンテナユニットの送信・受信LEDが消灯したら終了です。	◆ID登録正常時 受信ランプ点灯 受信音「ヒロヒロ…」 ◆ID登録異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」
ID登録 (A-13) En → ▶■	1.A-13アンテナユニットのリセットスイッチを押します。 2.リモコンのエントリースイッチを押し、送信ランプ点滅時にスタート・ストップスイッチを同時押しします。 3.アンテナユニットのパワー・エラーランプが消灯したら終了です。	◆ID登録正常時 受信ランプ点灯 受信音「ヒロヒロ…」 ◆ID登録異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」
防犯スタート (本製品を動作させる) En → ▶	1.リモコンのエントリースイッチを押し、送信ランプ点滅時にスタートスイッチを押します。	◆スタート正常時 受信ランプ点灯 受信音「ヒロヒロ…」 ◆スタート異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」
防犯ストップ 警報ストップ (本製品を停止させる) En → ■	1.リモコンのエントリースイッチを押し、送信ランプ点滅時にストップスイッチを押します。	◆ストップ正常時 受信ランプ点灯 受信音「ヒロヒロ…」 ◆ストップ異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」
ドアロック (ドアロック配線時のみ) ※連動して防犯もスタートします。 ▶ → ▶	1.リモコンのスタートスイッチを押し、送信ランプ点滅時に再度、スタートスイッチを押します。	◆ドアロック正常時 受信ランプ点灯 受信音「ヒロヒロ…」 ◆ドアロック異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」
ドアアンロック (ドアロック配線時のみ) ※連動して防犯もストップします。 ■ → ■	1.リモコンのストップスイッチを押し、送信ランプ点滅時に再度ストップスイッチを押します。	◆ドアアンロック正常時 受信ランプ点灯 受信音「ヒロヒロ…」 ◆ドアアンロック異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」

動作内容	操作方法	アンサーバック
エンジンスタート (A-13取付け時) ※ECOモードのみ作 動します。 En ▶	1. エントリースイッチとスタートスイッチを同時に押します。	◆エンジンスタート正常時 送信ランプ点滅 受信音「ピーピー」 ◆エンジンスタート異常時 受信ランプ点灯 受信音「ブー」
エンジンがかかっているかの確認 (A-13取付け時) En ▶	1. エントリースイッチとスタートスイッチを同時に押します。	◆エンジンがかかっている時 受信・送信ランプ点滅 受信音「ピーピー」 ◆エンジンがかかっていない時 受信ランプ点灯 受信音「ピーピー」
エンジンストップ (A-13取付け時) En ■	1. エントリースイッチとストップスイッチを同時に押します。	◆ストップ正常時 受信ランプ点灯 受信音「ピロピロ…」 ◆ストップ異常時 受信ランプ消灯 受信音「ブー」

リモコン表示一覧表

表示種類	内容
送信ランプ点灯	リモコンより電波を送信中です。
受信ランプ点灯	アンテナユニットからの電波を受信中です。
・振動センサーランプ 点滅 ・アラーム音「ピリピリ…」 (約10秒間)	・振動センサーの反応。(車輻への衝撃を検出しました。軽度・重度) ・拡張振動センサーの反応。(オプション「拡張振動センサー-2」装着時のみ)
・電圧センサーランプ 点滅 ・アラーム音「ピリピリ…」 (約10秒間)	・電圧センサーの反応。(車輻の電圧変化を検出しました。) ・カーテンセンサーの反応。(カーテン配線時※オプション含む)
・オプションランプ点滅 ・アラーム音「ピリピリ…」 (約10秒間)	オプションセンサーの反応を検出しました。(トランクセンサー-2等)
送信・受信ランプ交互 点滅(約2秒間) (チャージサイン)	リモコンの電池容量が減っています、充電を行ってください。(電波送信後、表示) ※チャージサイン表示中はアンサーバックを行いません。

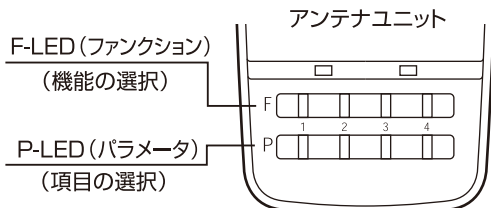
機能設定

- 本製品は下記機能を任意に設定することができます。
- NO.1～8の設定はリモコンで行います。

1	振動センサー感度設定	6	スタート/ストップ音(スピーカー)設定
2	フラッシャー設定	7	スタート/ストップ音(ホーン)設定
3	スピーカー警告(軽度警報)設定	8	キャンセルタイマー設定
4	スピーカー警告(重度警報)設定	9	振動センサーVOL.設定
5	ホーン警告(重度警報)設定	10	スピーカーVOL.設定

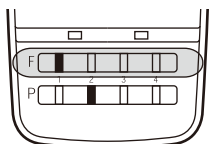
◆設定方法 ※機能1～8(リモコンでの設定)

●名称



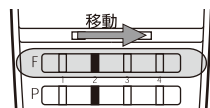
- 設定方法 ※約15秒以上リモコンからの入力がない状態がつづく場合機能設定は自動終了します。各機能の設定方法詳細はP23～P28を参照してください。

1. 本製品が停止している状態で、リモコンのスタート/ストップスイッチを同時に押します。
・F-LEDが点灯し対応する項目のP-LEDの現設定が点灯します。



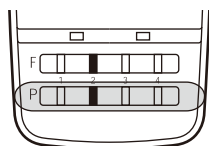
F-LED点灯
P-LED点灯

2. スタート/ストップスイッチを同時押しする毎にF-LED点灯箇所が移動します。設定する機能にあわせて。
・NO.5以降は対応するF-LEDが消灯します。



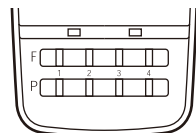
F-LED点灯が移動

3. リモコンのスタートスイッチを押すとP-LEDが点灯から点滅に変わります。
・スタートスイッチを押す毎に点滅が移動します。設定する項目にあわせて。(点滅)
・続けて他の機能を設定する時は、再度2へ。



移動
P-LEDが移動

4. F-LED全てが消える迄、スタート/ストップスイッチの同時押しを繰り返すか、約15秒以上リモコンから入力を行わないと設定は終了します。



LEDが全て消灯し終了

◆機能設定表

初 印は、出荷時の初期設定

■点灯 □消灯

No.	F-LED (機能)	P-LED (項目)				
		□□□□	■□□□	□■□□	□□■□	□□□■
1	■□□□ 振動センサー 感度設定	振動センサーOFF	LOW (低い)	初		HI (高い)
2	□■□□ フラッシャー 設定	OFF (全消灯) □ □ □ □ □ □ □ □	点滅 □ □ □ □ □ ■ ■ □	初 ループ 	スウィング ■ ← → □ □ ← → ■	イコライザー □ ← → ■ ■ ← → □
3	□□□□ スピーカー警告 (軽度警報) 設定	OFF (警告なし)	電子音(1秒)	電子音(10秒)	日本語	英語
4	□□□■ スピーカー警告 (重度警報) 設定	OFF (警告なし)	電子音(30秒)	電子音(60秒)	日本語 + 電子音	英語 + 電子音
5	□■■■ ホーン警告 (重度警報) 設定	初 OFF (警告なし)	0.2秒×3回	0.2秒×12回	0.4秒×3回	0.4秒×12回
6	■□□■ スタート/ストップ音 (スピーカー) 設定	OFF	電子音1	電子音2	日本語	英語
7	■□□■ スタート/ストップ音 (ホーン) 設定	初 OFF	0.2秒	0.4秒	0.6秒	0.8秒
8	■■■■□ キャンセルタイマー 設定	初 OFF	30秒	1分	5分	15分

9	振動センサーVOL. 設定	付属のドライバーを使用して メインユニットにある振動セ ンサーVOL.を調整してくだ さい。				
---	------------------	---	--	--	--	--

10	スピーカーVOL. 設定	付属のドライバーを使用して メインユニットにあるスピー カーVOL.を調整してください。				
----	-----------------	--	--	--	--	--

機能設定

◆振動センサー感度設定

●本製品にはメインユニット内に振動センサーが内蔵されており、振動センサーVOL.による設定で調整を行った後、使用環境などにあわせてリモコンで振動センサー感度の設定を行ってください。

■点灯 □消灯

ファンクションLED		機能内容
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">■ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	車輻への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。	




項目	パラメーターLED	項目内容
1	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	振動センサーOFF ※車輻への衝撃による警報をOFFします。
2	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">■ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	感度LOW
3	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">■ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	初
4	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">■ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	
5	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">■ 4</div> </div>	感度HI

◆フラッシャー設定

●本製品作動時にアンテナユニット内のフラッシャー部が点滅するパターンを設定します。
※省電力モード(P30)時は、項目2の点滅パターンになります。

■点灯 □消灯

ファンクションLED		機能内容
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">■ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	本製品が作動中であることを周囲に知らせ、不審者へ心理的な威圧感を与えることのできる4通りのパターンがあります。	

項目	パラメーターLED	項目内容
1	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	OFF(全消灯) □ □ □ □ □ □ □ □ フラッシャーは点灯しません。
2	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">■ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	点滅 □ □ □ □ □ ■ □ □ 2個のLEDが点滅します。 ※省電力モード時も点滅表示となります。
3	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">■ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	ループ  1個のLEDが回転点灯します。
4	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">■ 3</div> <div style="text-align: center;">□ 4</div> </div>	スウィング  LED点灯が交互に左右へ移動します。
5	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">□ 1</div> <div style="text-align: center;">□ 2</div> <div style="text-align: center;">□ 3</div> <div style="text-align: center;">■ 4</div> </div>	イコライザー  車輻への衝撃にあわせてLEDが点灯します。

◆スピーカー警告(軽度)設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

■点灯 □消灯

ファンクションLED				機能内容
□	□	■	□	振動センサーが車輛への弱い振動を検出した時に行う警報を設定します。
1	2	3	4	

項目	パラメーターLED				項目内容
1	□	□	□	□	軽度警報OFF ※弱い衝撃時の警報をOFFします。
2	■	□	□	□	電子音にて1秒警報
3	□	■	□	□	電子音にて10秒警報
4	□	□	■	□	日本語にて警報 「注意してください。セキュリティシステムが作動しています。」
5	□	□	□	■	英語にて警報 「Attention. This car is equipped an alarm system.」

◆スピーカー警告(重度)設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

■点灯 □消灯

ファンクションLED				機能内容
□	□	□	■	振動センサーが車輛への強い振動を検出した時又は、電圧変化を検出した時に行う警報を設定します。
1	2	3	4	

項目	パラメーターLED				項目内容
1	□	□	□	□	重度警報OFF ※強い衝撃時の警報をOFFします。
2	■	□	□	□	電子音にて30秒警報(間欠音)
3	□	■	□	□	電子音にて60秒警報(間欠音)
4	□	□	■	□	日本語にて警報後、電子音で20秒警報 「警告します。ただちに車輛から離れてください。」
5	□	□	□	■	英語にて警報後、電子音で20秒警報 「Get away soon. A warning start now.」

機能設定

◆ホーン警報設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

※ホーン出力配線(P10~P11)を行っていない場合は項目1(ホーン警報OFF)に設定してください。

■点灯 □消灯

ファンクションLED					機能内容
□	■	■	■	■	振動センサーが車輻への強い振動を検出した時に車輻ホーンより行う警報を設定します。
1	2	3	4		
項目	パラメーターLED				項目内容
1	□	□	□	□	ホーン警報OFF 初
2	■	□	□	□	0.2秒×3回
3	□	■	□	□	0.2秒×12回
4	□	□	■	□	0.4秒×3回
5	□	□	□	■	0.4秒×12回

◆スタート/ストップ音(スピーカー)設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

■点灯 □消灯

ファンクションLED					機能内容
■	□	■	■	■	本製品をリモコンでスタート/ストップを行った時に、スピーカーからの確認音を設定します。
1	2	3	4		
項目	パラメーターLED				項目内容
1	□	□	□	□	スタート/ストップ音OFF
2	■	□	□	□	電子音1にてお知らせ スタート時:「ポツ」 ストップ時:「ポツポツ」 初
3	□	■	□	□	電子音2にてお知らせ スタート時:「ポツ」 ストップ時:「ポツポツ」
4	□	□	■	□	日本語にてお知らせ スタート時:「注意してください。ポツ」 ストップ時:「注意してください。ポツポツ」
5	□	□	□	■	英語にてお知らせ スタート時:「Attention. ポツ」 ストップ時:「Attention. ポツポツ」

機能設定

◆スタート/ストップ音(ホーン)設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

■点灯 □消灯

ファンクションLED					機能内容
	■	■	□	■	本製品をリモコンでスタート/ストップを行った時に、車輛ホーンからの確認音を設定します。
	1	2	3	4	
項目	パラメーターLED				項目内容
1	□	□	□	□	スタート/ストップ音OFF 初
2	■	□	□	□	スタート時:「0.2秒×1回」 ストップ時:「0.2秒×2回」
3	□	■	□	□	スタート時:「0.4秒×1回」 ストップ時:「0.4秒×2回」
4	□	□	■	□	スタート時:「0.6秒×1回」 ストップ時:「0.6秒×2回」
5	□	□	□	■	スタート時:「0.8秒×1回」 ストップ時:「0.8秒×2回」

◆キャンセルタイマー設定

●下記表を参照して設定を行ってください。

※キャンセルタイマーを使用すると・・・エンジン停止後、クーリングファン・リモコンドアロック等、電装品が動作しても設定時間以内であれば警報を行いません。

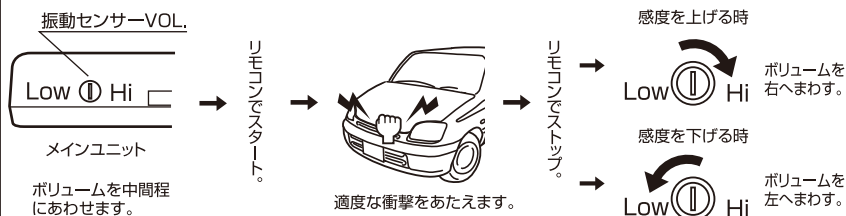
■点灯 □消灯

ファンクションLED					機能内容
	■	■	■	□	本製品をリモコンでスタート後、各センサーが防犯監視状態になるまでの時間を設定します。
	1	2	3	4	
項目	パラメーターLED				項目内容
1	□	□	□	□	キャンセルタイマーOFF 初
2	■	□	□	□	30秒
3	□	■	□	□	1分
4	□	□	■	□	5分
5	□	□	□	■	15分

◆振動センサーVOL.設定

- 車輪への衝撃を検出し、警報を行う為の振動センサーの感度を設定します。
- ※振動センサーの設定には、リモコンで行う設定方法 (P24) と、振動センサーVOL.で行う方法と2通りありますが、必ず先に振動センサーVOL.での設定を行ってください。

1. 振動センサーVOL.を付属のドライバーで中間の位置にあわせませす。
2. 車輪エンジンを切り、全てのドアを閉じます。
※駐車状態にします。
3. 本製品をリモコンでスタートします。(P20)
4. キャンセルタイマー作動間 (設定時のみ)、フラッシャーユニットが全点滅します
※スタート後、キャンセルタイマー作動間 (設定時) は警報を行いません。
5. フラッシャーが全点滅から表示が変わった後、車外から車輪に軽く衝撃をあてます。
6. 適度な衝撃で、警報が行われる様に衝撃センサーVOL.を調整します。
※感度が弱い場合は振動センサーVOL.を右へ、強い場合は左へ少しづつまわして調整を行ってください。
必ずリモコンで本製品をストップ (P20) してから、振動センサーVOL.の調整を行ってください。



◆スピーカーVOL.設定

- スピーカーの音量調整をメインユニットのスピーカーVOL.で行います。
- 必ず付属のドライバーを使用して調整を行ってください。

1. スピーカーユニットから行う警告の音量を大きくする場合、スピーカーVOL.を右 (Hi) へまわします。
2. スピーカーユニットから行う警告の音量を小さくする場合、スピーカーVOL.を左 (Low) へまわします。
3. 本製品を作動させ、メインユニットへ軽く振動をあてて、音量を確認してください。



◆警報内容

●本製品が行う警報と内容

1.振動センサーによる警報

- 軽度警報 弱い衝撃の時に警報を行います。
- 重度警報 強い衝撃の時に警報を行います。

2.電圧センサー又はカーテシ検出による警報

車輛のドアオープンによるルームランプ点灯等の電圧変化又は、ドアオープン時のカーテシ電圧を検出し警報を行います。※カーテシ検出は、カーテシ配線時(P14)のみ。

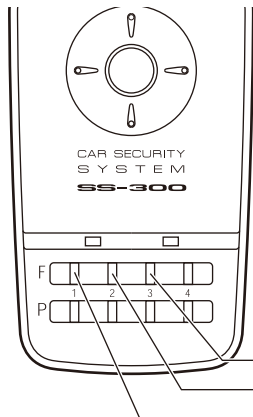
- ※◇一部車種で電圧センサーによる警報が正常に働かない場合があります。その場合、付属のカーテシ配線をご使用ください。
- ◇本製品作動中に、下記機能の操作を行うと車輛の電圧変化を検出し警報を行う場合があります。必ず本製品停止中に操作を行ってください。
 - ・リモコンドアロック/キーレスエントリーシステム
 - ・リモコンランクオープナー/リモコンパワーウィンドー/リモコンアミラー
 - ・電子制御式集中ドアロック等
- ◇本製品が作動中に、下記機能が作動すると車輛の電圧変化を検出し警報を行う場合があります。
 - ・クーリングファン(エンジン停止後に作動するタイプ)
 - ・自動室内換気装置(エンジン停止後に作動するタイプ)
 - ・その他、エンジン停止時に自動的に作動する電装品が取り付けされている場合(純正品も含む)

警報種類	作動条件	警報方法
振動センサー	軽度警報	車輛への弱い衝撃を検出した時、警報を行います スピーカーユニット(P25)
	重度警報	車輛への強い衝撃を検出した時、警報を行います 車輛ホーン(P26) (ホーン配線時のみ) スピーカーユニット(P25)
電圧センサー/カーテシ	重度警報	ドアオープンによるルームランプ点灯等の電圧変化を検出又は、ドアオープン時のカーテシ電圧を検出し警報を行います。 ※一部車種で電圧センサーによる警報が正常に働かない場合があります。 車輛ホーン(ホーン配線時のみ) ※2回警報×16回 スピーカーユニット(P25)

◆その他機能

●履歴表示機能（本製品が作動時に反応したセンサーと回数を表示します。）

- ・本製品が停止している状態で、リモコンのストップ操作を行います。
- ・履歴表示のある場合、アンテナユニットが数度全点滅し、その後対応する項目が点滅します。
- ※・対応項目点滅時に本体内臓ブザーでもお知らせします。
- ・履歴表示中はリモコンでの動作は行えません。



LED点滅回数	センサー反応回数
0回	反応なし
1回	1回反応
2回	2回反応
3回	3回反応
4回	4回反応
5回	5回以上反応

- オプション反応回数点灯
- 電圧センサー反応回数点灯
- 振動センサー反応回数点灯

●オートドアロック機能

本リモコンにてドアアンロックを行った場合、1分後に自動でドアロックを行います。万一、ポケット、鞆中等で、誤ってリモコンよりドアアンロックを行ってしまった場合、車輛のドアロックが開いたままの状態になるのを防止する為の安全対策機能です。

- ※・本リモコンにてドアアンロック後、1分以内にイグニッションキーをONの位置に回すとオートドアロック機能がキャンセルされます。
- ・カーテシ配線を行っている場合は、本リモコンにてドアアンロック後、1分以内にドアをあけるとオートドアロック機能がキャンセルされます。
- ・リモコンエンジンスターター／ターボタイマー（他社製品含む）が作動している間はオートドアロック機能がキャンセルされます。ご注意ください。

●省電力モード

本製品が8日間以上連続で作動し、その間、警報等が一度も発生しない時、バッテリー保護の為にアンテナユニットの表示が点滅に変わります。（各センサーは作動しています。）

- ※リモコンでスタート/衝撃・電圧変化の検出等を行うと省電力モードは解除され、通常の表示に戻ります。

故障かな？と思ったら

●本製品を使用中、正常に作動しない場合、点検・修理をご依頼される前に、下記表を参照してご確認ください。

症状	確認	対策	ページ
リモコンでの各操作が行えない (・警報スタート ・警報ストップ ・ドアロック ・ドアアンロック 等	・正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	6～16
	・ヒューズが切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	5
	・リモコンの電源がOFFになっていませんか？	・リモコンの電源をONにしてください。	17
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの充電を行ってください。	18
	・付近で他の無線局が送信していませんか？	・場所を移動して再度リモコン操作を行ってください。	20
	・ID登録はしてありますか？	・ID登録を行ってください。	19
リモコンのアンサーバック機能が作動しない	・リモコンの電源がOFFになっていませんか？	・リモコンの電源をONにしてください。	17
	・リモコンの電池が切れていませんか？	・リモコンの充電を行ってください。	18
	・付近で他の無線局が送信していませんか？	・場所を移動して再度リモコン操作を行ってください。	20
	・ID登録はしてありますか？	・ID登録を行ってください。	19
	・リモコンが受信しにくい状態になっていませんか？	・アンテナを伸ばし、ポケット、鞆等から出した状態でご使用ください。	17
アンテナユニットが点灯(点滅)しない	・10Pケーブルは確実に接続されていますか？	・10Pケーブルの接続を確認してください。	15
	・フラッシャー設定がOFFになっていませんか？	・フラッシャー設定を確認してください。	24
警報が出力しない(スピーカー)	・スピーカーユニットは正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	8
	・スピーカー警報設定がOFFになっていませんか？	・スピーカー警報設定を確認してください。	25
警報が出力しない(ホーン)	・ホーン出配線は正しく配線されていますか？	・配線を確認してください。	10・11
	・ホーン警報設定がOFFになっていませんか？	・ホーン警報設定を確認してください。	26
	・ホーン警報機能の使用できないお車ではありませんか？	・ホーン警報はご使用できません。 ・ホーン警報設定をOFFしてください。	2 (注意)
警報が出力しない(衝撃検出時)	・振動センサー感度設定がOFFになっていませんか？	・振動センサー感度設定を確認してください。	24
	・振動センサーは正しく設定されていますか？	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサー感度設定を確認してください。 ・メインユニットの取付け位置を確認してください。	28 24 16

故障かな？と思ったら

症 状	確 認	対 策	ページ
警報が出力しない (電圧変化検出時) カーテシ配線無し時	・カーテシ検出スイッチが2 (配線時) になっていませんか？	・カーテシ検出スイッチを確認してください。	16
	・ルームランプはドアオープンと連動していますか？	・ルームランプをドアオープンと連動させてください。 ※一部車種で、ドアオープン時の電圧変化が作動しない場合があります。その場合、付属のカーテシ配線を行ってください。 又、一部車種には、別売のカーテシ配線 (複数線) 「SS-051」が必要になる場合があります。	
警報が出力しない (カーテシ配線時)	・カーテシ配線は正しく配線されていますか？	・カーテシ配線を確認してください。	14
	・カーテシ検出スイッチが1 (通常時) になっていませんか？	・カーテシ検出スイッチを確認してください。	14
	・各ドアのカーテシが独立している車種ではありませんか？	・別売のカーテシ配線 (複数線) 「SS-051」を使用してください。	14
衝撃がない状態で 警報が出力される	・振動センサーは正しく設定されていますか？ (Hi! になっていませんか)	・振動センサーVOL.の設定を確認してください。 ・振動センサー感度設定を確認してください。 ・メーユユニットの取付け位置を確認してください。	28 24 16
	・駐車車時に電圧変化の発生する装備が車輛に取付けられていませんか？	・カーテシ配線を行ってください。	29・14

- リモコン

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHZ
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内(25℃)
周波数偏位	±2.5KHZ以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHZ
受信感度	-116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内(25℃)
送受信アンテナ	トップロードアンテナ
定格電圧	DC1.2V
動作温度範囲	-20℃~+60℃
使用電池	単4ニッカド電池
ケース寸法	33.0 (W) ×84.2 (H) ×18.7 (D) /mm

- メインユニット

定格電圧	12VDC
消費電流	待機時5mA以下(平均)
動作温度範囲	-25℃~+75℃
ケース寸法	72.0 (W) ×24.0 (H) ×90.0 (D) /mm

- アンテナユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHZ
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内(25℃)
周波数偏位	±2.5KHZ以内
送信時間	10.8秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHZ
受信感度	-118dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1/4λホイップアンテナ
動作温度範囲	-25℃~+75℃
定格電圧	DC12V
消費電流	待機時5mA以下(平均)
ケース寸法	45.0 (W) ×26.5 (H) ×75.0 (D) /mm

- スピーカー

動作温度範囲	-25℃~+75℃
ケース寸法	96.0 (φ) ×40.0 (D) /mm